

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
インテリア製図	トータルインテリア学科/1年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		上妻 竜	
授業の概要				
製図の道具の使い方や製図の書き方の基礎を習得しながら図面を仕上げていく				
授業終了時の到達目標				
部材の書き分けを理解し、美しい線が書けるようになる 図面に必要な表示記号、平面図、展開図が書けるようになる インテリア設計士持込用の図面を作成できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ハウスメーカー、設備関連会社に従事 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
平行定規、三角定規等を使って繰り返し練習(予習・復習の実施) より多くの図面を見て、読み解く				
回	テーマ	内容		
1	製図とは 三角スケールの使い方	製図の基本的知識 道具の使い方、線の書き方		
2	線の練習	線の練習 線の書き方、平行定規の使い方、定規の使い方		
3	線の練習	課題製作、提出		
4	表示記号	表示記号の書き方 扉、窓、仕上げ、材質の下書きとペン入れ		
5	表示記号	課題製作、提出		
6~ 15	インテリア設計士用図面作成	課題を読む エスキス 作図		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリア設計士 実技編		実習・実技評価 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
モデリング	トータルインテリア学科/1年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		上妻 竜	
授業の概要				
スチレンボードをメインの材料として、平面を立体で表現する力を身につける				
授業終了時の到達目標				
模型制作を通して立体感覚を養う 実寸のミニチュアを作ること、目視で確認する能力を身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ハウスメーカー、設備関連会社に従事 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
カッターに慣れる スケール感覚を身につける				
回	テーマ	内 容		
1	模型とは カッターの使い方	道具・材料の説明 道具の使い方		
2	課題①立方体、円柱	一枚残し、糊付け		
3~ 5	課題②住宅模型	模型図面 開口部 仕上げ材の表現方法		
6~ 7	課題③家具・植栽・敷地	細部の表現方法について		
8~ 12	課題④2階建住宅模型	住宅模型の応用		
13~ 15	課題制作			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
配布プリント		実習・実技評価 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
総合デザイン I	トータルインテリア学科/1年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		鵜籠 正木 中田	
授業の概要				
トータルインテリア学科1, 2年生を混成の班に分け、コンセプトワーク、プラン、プレゼンという過程を経て制作物を作成する能力を養う				
授業終了時の到達目標				
1, 2年で協力しクオリティの高い制作物を作る 2年生はコンセプトワークや作業の手順等を伝えるとともに1年生の「良さ」を引き出し成果物に反映させる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	班分け 課題発表①	班分けを発表し、アイスブレイク 課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン		
2~ 4	プレゼン 制作	各班のプランをプレゼン 制作 (全員)		
5~ 11	課題発表②	課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン 企画プレゼン (教員了承後)		
12	完成プレゼン	完成プレゼンテーションを行う		
13~ 15	実践課題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		授業態度 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
総合デザインⅡ	トータルインテリア学科/1年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		鵜籠 正木 中田	
授業の概要				
学年の枠を超えたグループでの取り組みを行うことにより、コミュニケーション能力と人間力を養う 与えられた空間・予算内で常に新しい表現で感動を与えるモノを作る				
授業終了時の到達目標				
グループ制作を通して企画・制作・発表を行う中で積極的に人間関係を構築し、社会性や自主性を養い 自己表現することが出来る デザイン展の空間トータルデザインを考える				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	グループ顔合わせ 目標設定 課題発表①	頭の柔軟体操 半期の目標設定		
2~ 6	プランニング プレゼン 制作	テーマに沿った企画を考え意見交換を行いまとめる ※予算の感覚を身に付ける		
7	課題発表②	企画・提案 展示方法・学科としてできることについて		
8	プレゼンテーション	企画発表		
9~ 12	制作	素材、制作方法について話し合い・試作をしながら進める		
13~ 15	実践課題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		授業態度 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
スペースデザイン演習 I	トータルインテリア学科/1年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		鵜籠 麻美	
授業の概要				
習得してきた知識と技術を活かして、実在空間についてプランから制作及び設営まで手順を理解する様々な課題を通してスケール感や空間構成能力を養う				
授業終了時の到達目標				
クラス全員のグループ制作と捉え、各自の役割を理解し、責任を持って計画的に作業を遂行することで、完成度の高い空間づくりができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1~2	名作椅子の模型製作①	選択 図面制作		
3~5	名作椅子の模型製作②	模型制作		
6	プレゼンテーション			
7	6階ミニディスプレイの提案①	出題 実測		
8~11	6階ミニディスプレイの提案②	エスキス～図面・模型		
12	プレゼンテーション			
13~15	プレゼンテーション	制作手順を考えてクオリティ高い作品に仕上げる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		実習・実技評価 課題・レポート 授業態度	30.0% 50.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
作品展示計画 I	トータルインテリア学科/1年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (40時間)	必須		鵜籠 麻美	
授業の概要				
言葉のプレゼンテーション及び視覚的な表現としてのプレゼンテーション、オリジナリティがあり、より効果のあるプレゼンテーションを実施する				
授業終了時の到達目標				
限られた時間で伝えるプレゼンテーションテクニックを見つける さまざまなアイデアを形で表現する表現力を身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1~4	修了制作の作品制作			
5~10	プレゼンテーション練習			
11~15	プレゼンテーション			
16~20	デザイン展会場制作・設営			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		授業態度 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
CAD演習	トータルインテリア学科/1年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (60時間)	必須		川崎 耕平	
授業の概要				
JWWの基本操作の習得				
授業終了時の到達目標				
JWWを使いこなし、作図できる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。施工図、納まり図、工程表などをCADにて作成。			
時間外に必要な学修				
習得した技術をなるべく使うように繰り返し課題に取り組む				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション			
2	JWWとは	JWWについて インストール		
3	設定	標準設定		
4~ 6	基本操作	左右のクリックの違い 拡大・縮小・移動、ドラッグなど		
7	コマンド①	線コマンド		
8	コマンド②	円コマンド		
9	コマンド③	文字・寸法コマンド		
10	コマンド④	消去コマンド		
11	コマンド⑤	移動・複製コマンド		
12	コマンド⑥	伸縮・コーナーコマンド		
13	コマンド⑦	複線コマンド		
14	コマンド⑧	ハッチ・図形コマンド		
15~ 16	寸法の決まった図をかく①②	簡単な図形の作図		
17~ 18	図形を開き、加筆・印刷しよう①②	図形ファイルからの作図		
19~ 24	練習問題			
25~ 30	実践問題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
はじめて学ぶJW_CAD(エクスナレッジブック)		授業態度 課題・レポート	30.0% 70.0%	



科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
社会人基礎講座Ⅱ	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位(48時間)	必須		中田 忠志	
授業の概要				
自己理解・表現力・社会理解を深める授業を実施する。プレゼンテーション、ディベート、グループディスカッションを通して、実践的な表現力や論理的思考力を養い、また給与明細の読み方や社会人として働くことの意味についても理解を深める。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動に必要な自己理解を深め、自身の強み・課題が明確になっている。</li> <li>・プレゼンやディスカッションを通じて、自己表現力・論理的思考力・対話力が向上している。</li> <li>・給与明細の理解や「働くこと」への意識を高め、社会人としての基礎的な知識と心構えが身についている。</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己分析の継続(適性検査・経験の振り返り)</li> <li>・プレゼン・面接練習(録画や原稿作成)</li> <li>・時事問題の調査と意見整理</li> </ul>				
回	テーマ	内容		
1	目標設定	グループでコミュニケーション クラス目標、個人目標の設定		
2	オリエンテーション	コミュニケーションの定義 「話すこと」「聞くこと」		
3	就活用書類作成	Excel、Wordの復習 就活用書類の作成		
4~7	ディスカッション	テーマに沿ってグループディスカッション ・社会人(新卒)とは ・働くとは ・夢 ・コンセプトとは		
8~9	一般常識問題	グループで一般常識問題にチャレンジ		
10~11	コミュニケーションの応用	プレゼンテーション		
12	目標設定			
13	オリエンテーション	クラス内ディスカッション		
14~19	頭の柔軟体操	発想力を養うトレーニング①~⑥		
20~23	卒業制作について	進捗状況の確認 お互い作品について指摘、アドバイス		
24	プレゼンテーション			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
IC販売	トータルインテリア学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位 (30時間)	必須		鵜籠 麻美
授業の概要			
インテリアコーディネーターの仕事を参考に流通や販売について再認識し、商品やサービスの販売に関する基礎知識を学習する			
授業終了時の到達目標			
働く上での一般常識を理解し、余裕のある社会人生活をスタートするための知識・技術習得			
実務経験有無		実務経験内容	
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う	
時間外に必要な学修			
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 繰り返し作業をする事により知識・技術の幅を広げる			
回	テーマ	内容	
1	住宅の供給と政策	日本の住宅とインテリアについて理解し、これからの住宅について確認をする	
2	環境問題と住宅	住宅に関わる環境問題について理解する	
3	職能と仕事	建築・インテリア業界の実務について理解する	
4~5	見積書について	見積書の見方を理解し、実際に練習問題を通して確認する	
6	マーケティングの諸活動	専門用語を理解し、市場の仕組みについて確認する	
7~10	実践課題「部屋のコーディネート」	予算を踏まえ、実践に近い提案の仕方について理解し、クライアントを想定した見積書、プランニングボードを作成する	
11	プレゼンテーション	説得力あるプレゼンテーションについて理解する	
12	期末試験	まとめ	
13~15	課題製作	リアリティのある作品に仕上げる	
教科書・教材		評価基準	評価率
インテリアコーディネーター合格教本 上巻 世界で一番やさしいインテリア		課題・レポート 授業態度 期末試験	20.0% 40.0% 40.0%
			その他

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
3DCG演習	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (96時間)	必須		鶴籠 麻美	
授業の概要				
VectorWorksを使用して設計図を3次元化しプレゼンテーションの幅を広げる為の技術を養う Illustrator/Photoshopを応用しプレゼンテーションボード作成方法を理解する				
授業終了時の到達目標				
3次元CADのスキルを身につけることにより、設計における空間把握能力を高め、作品の質の向上を目指す パソコンを使ってプレゼンテーションボードを制作することで、更に表現力を身に付け質の高いプレゼンテーションができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
パソコンを使用する癖をつける 繰り返し作業をする事により知識・技術の幅を広げる				
回	テーマ	内容		
1	3DCGとは	授業内容の説明、ソフトの説明 ソフトのインストールについて		
2	Illustrator, Photoshopの復習	テーマに沿ったポストカード作成		
3	Vector Works基礎 I	画面と各部名称 各種設定(環境設定、ファイル設定、用紙設定)		
4	Vector Works基礎 II	基本操作、レイヤの設定と縮尺		
5~ 6	Vector Works基礎 III	2D作図の基本		
7~ 8	3次元基礎 I	3Dモデリングの基本 (柱状体、多段柱状体、回転体、3Dパス図形)		
9~ 10	3次元基礎 II	柱、壁、床、窓の作成		
11~ 12	3次元基礎 III	躯体のモデリング		
13~ 14	3次元基礎 IV	レンダリングとテクスチャ		
15~ 18	3次元応用 I	前期演習課題の3D制作		
19~ 20	プレゼンボードについて①	Illustrator, Photoshopの復習		
21~ 22	プレゼンボードについて②	プレゼンボードの制作方法		
23~ 24	実技試験	まとめ		
25~ 30	課題製作	プレゼンボード制作		
31~ 33	ポスターコンペにチャレンジ	Illustrator, Photoshopの応用 2次元の表現		
34~ 37	3次元応用 II	家具の作図(※選択課題)		
38~ 43	3次元応用 III	戸建住宅の作図(※選択課題)		
44~ 48	PC技術の総まとめ	※選択課題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
VECTORWORKSパーフェクトバイブル 2023/2022対応		実習・実技評価 課題・レポート 授業態度 期末試験	30.0% 20.0% 10.0% 40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
スペースデザイン演習Ⅱ	トータルインテリア学科/2年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位(60時間)	必須		鵜籠 麻美	
授業の概要				
2年間の集大成として、あらゆる科目で習得してきた知識と技術を活かして、実在空間についてプランから制作及び設営まで行う技術を養う クラス全員のグループ制作と捉え、各自の役割を理解し、責任を持って計画的に作業を遂行することで、完成度の高い空間づくりについて理解する				
授業終了時の到達目標				
自分で考え、グループを動かし、クライアントに求められている実際の空間を作り上げることができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
実在する空間を数多く見て、使って研究する なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テーマ	内容		
1~2	スペースデザイン	グループ製作 コンセプトワークについて確認する		
3~11	スペースデザイン 課題A「モデルルームコーディネート」	オリエンテーション コンセプトメイキング 内装コーディネート コーディネートボード作成		
12	プレゼンテーション			
13~23	スペースデザインB「〇〇の提案」	グループ製作 コンセプトをカタチに落とし込む能力を養う 創造力を身につける		
24	プレゼンテーション			
25~30	実製作			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌		実習・実技評価 課題・レポート 授業態度	40.0% 40.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
総合デザインⅢ	トータルインテリア学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位 (24時間)	必須		鵜籠 正木 中田

## 授業の概要

トータルインテリア学科1, 2年生を混成の班に分け、コンセプトワーク、プラン、プレゼンという過程を経て制作物を作成する能力を養う

## 授業終了時の到達目標

1, 2年で協力しクオリティの高い制作物を作る  
2年生はコンセプトワークや作業の手順等を伝えるとともに1年生の「良さ」を引き出し成果物に反映させる

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

## 時間外に必要な学修

物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける  
実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テーマ	内容		
1	班分け 課題発表①	班分けを発表し、アイスブレイク 課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン		
2~4	プレゼン制作	各班のプランをプレゼン 制作 (全員)		
5~11	課題発表②	課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン 企画プレゼン (教員了承後)		
12	完成プレゼン	完成プレゼンテーションを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		授業態度 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
総合デザインⅣ	トータルインテリア学科/2年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (24時間)	必須		鵜籠 正木 中田	
授業の概要				
学年の枠を超えたグループでの取り組みを行うことにより、コミュニケーション能力と人間力を養う 与えられた空間・予算内で常に新しい表現で感動を与えるモノを作る				
授業終了時の到達目標				
グループ制作を通して企画・制作・発表を行う中で積極的に人間関係を構築し、社会性や自主性を養い 自己表現することが出来る 空間トータルデザインを考える				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	グループ顔合わせ 目標設定 課題発表①	頭の柔軟体操 半期の目標設定		
2~ 6	プランニング プレゼン 制作	テーマに沿った企画を考え意見交換を行いまとめる ※予算の感覚を身に付ける		
7	課題発表②	企画・提案 展示方法・学科としてできることについて		
8	プレゼンテーション	企画発表		
9~ 12	制作	素材、制作方法について話し合い・試作をしながら進める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		授業態度 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
IC概論 I	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (48時間)	選択		川崎 正木	
授業の概要				
建築設備の知識を身に付け、インテリアコーディネーター試験一次試験合格、また卒業後二級建築士試験合格につなげる				
授業終了時の到達目標				
専門用語を理解し専門的知識を身に付け、インテリアコーディネーター試験合格を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。			
時間外に必要な学修				
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する				
回	テーマ	内容		
1	建築設備概論 給排水衛生設備	給水設備		
2	給排水衛生設備	給湯設備 ガス設備		
3	給排水衛生設備	排水設備 衛生器具設備		
4	空気調和設備	空気調和設備空気調和と室内環境 空気の状態を知る		
5	空気調和設備	空調負荷の考え方 空気調和方式の種類・特徴		
6	空気調和設備	熱源・熱搬送設備と機器部材		
7	空気調和設備	換気・排煙設備		
8	電気設備	受変電・幹線設備		
9	電気設備	動力設備 自家発電・蓄電池設備		
10	電気設備	照明・コンセント設備		
11	電気設備	情報・通信設備 防災設備		
12	期末テスト	解答解説		
13~ 15	構法、設備分野復習	コーディネーター直前補講 (施工、設備分野)		
16~ 23	2級建築士対策			
24	期末テスト			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本		授業態度 課題・レポート 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
IC法規	トータルインテリア学科/2年	2026/前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (24時間)	選択		正木 香奈	
授業の概要				
建築の基本的な構造や構法を理解した上で、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格				
実務経験有無	実務経験内容			
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、23年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	建築基準法について	建築基準法の基本的な用語や採光に関する規定について理解する		
2	建築基準法について	換気に関する規定やシックハウス対策について理解する		
3	建築基準法について	居室の床高・天井高に関する規定や共同住宅の界壁・地階の居室に関する規定について理解する		
4	建築基準法について	階段の規定や内装制限について理解する		
5	建築基準法について	建築物と道路の関係・形態・構造に関する制限や建築物を建てるための手続きについて理解する		
6	品確法・消防法・都市計画法・電気ガス関連法規について	品確法の内容・消防法の規定・都市計画法の用語・電気用品安全法の内容について理解する		
7	消費生活関連法規について	消費生活保護に関する動きと法律の成立や消費生活用製品安全法について理解する		
8	消費生活関連法規について	PL法の内容や工業標準化法・JAS法について理解する		
9	消費生活関連法規について	家庭用品品質表示法や割賦販売・クーリングオフについて理解する		
10	消費生活関連法規について	消費者契約法や特定商取引法について理解する		
11	品質表示マークについて	建築基準法の基本的な用語や採光に関する規定について理解する		
12	期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本		授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 20.0% 40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
IC構造	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位 (48時間)	選択		正木 香奈
授業の概要			
建築の基本的な構造や構法を理解し、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する			
授業終了時の到達目標			
専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格			
実務経験有無	実務経験内容		
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、23年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修			
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる			
回	テーマ	内容	
1	建築工法について	主要な4種の工法を理解する	
2	建築工法(プレハブ)について	プレハブ住宅の概要を理解する	
3	木造について	木造住宅と木造軸組工法の特徴を理解する	
4	木造について	基礎の構造を理解する	
5	木造について	真壁と大壁の違い・土台の機能を理解する	
6	木造について	柱の種類・その機能を理解する	
7	木造について	胴差・桁・梁の違いを理解する	
8	木造について	筋かい・火打ち・貫の機能を理解する	
9	木造について	和小屋と洋小屋の構造と部材の違いを理解する	
10	木造について	屋根の形を理解する	
11	木造について	床組の種類を理解する	
12	前期試験	試験の実施と授業の振り返り	
13	木造について	床組の工法を理解する	
14	木造について	継手の意味と主な種類を理解する	
15	木造について	仕口の意味と主な種類を理解する	
16	緊結金物の種類について	緊結金物の必要性について理解する	
17	緊結金物の種類について	主な緊結金物を理解する	
18	枠組壁工法について	枠組壁工法と軸組工法の違いを理解する	
19	枠組壁工法について	枠組壁工法の施工法を理解する	
20	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の特徴を理解する	
21	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の構造の種類を理解する	
22	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の工事や各部位を理解する	
23	鉄骨造やその他の工法について	鉄骨造やその他の工法の特徴を理解する	
24	後期試験	鉄骨造やその他の工法の特徴を理解する	
教科書・教材		評価基準	評価率
インテリアコーディネーター合格教本		授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 20.0% 40.0%
			その他

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
IC施工	トータルインテリア学科/2年	2026/後期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (24時間)	選択		正木 香奈	
授業の概要				
建築の基本的な構造や構法を理解した上で、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、23年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	床の下地と仕上げについて	床下地の構造・床仕上げの素材について理解する		
2	壁の下地について	壁の工法や構造・下地の種類について理解する		
3	壁の仕上げについて	左官仕上・種類について理解する		
4	天井の下地と仕上げについて	各構造の天井下地の構成・天井の形について理解する		
5	屋根の下地と仕上げについて	屋根下地・屋根葺きの用語・防水工事の方法について理解する		
6	和室の造作について	造作・内法の意味や柱の面取り・見切縁について理解する		
7	床の間について	床の間の形式・様式・部材について理解する		
8	洋室の造作について	洋室開口部の造作や洋室の見切縁について理解する		
9	階段について	階段の設計の考え方や構成部材と種類について理解する		
10	内装構成材について	構成材の流通・規模や床・天井・間仕切り・収納間仕切りユニットの分類と特徴について理解する		
11	施工関連用語について	覚えておくと便利な用語について理解する		
12	期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本		授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 20.0% 40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
IC材料	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位(48時間)	選択		川崎 耕平	
授業の概要				
建築・インテリアに関係する材料の特性を知り、各材料が及ぼす環境への影響について理解する 前期で学んだ建築材料について、過去のインテリアコーディネーター試験問題を解きながら、より知識を深める				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科・製図)に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。		
時間外に必要な学修				
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	木材の性質	木材の長所と短所 名称と木取りに関する用語 強度		
2	木質系材料	合板等の製法と性質		
3~ 4	鋼材・金属系建築材料・コンクリート・ボード製品	それぞれの特徴や用途、種類		
5	機能材料・仕上材①	機能材料の定義と種類 仕上材(陶磁器)		
6	仕上材②	仕上材(ガラス・プラスチック・石材)		
7	左官材料 カーペット	材料の特徴 カーペットの製法と特徴		
8	壁紙・塗料	特徴と生活上での影響		
9~ 10	左官材料 カーペット	材料の特徴 カーペットの製法と特徴		
11	壁紙・塗料	特徴と生活上での影響		
12	前期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り		
13~ 19	現場見学orコンペor資格試験基礎講座等適宜			
20~ 23	プレゼン図面作成等	短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める		
24	後期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本		授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 20.0% 40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
インテリア設計	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位 (178時間)	選択		鵜籠 正木 上妻 永井
授業の概要			
<p>コンセプトワークの大切さを改めて理解する  1年次に身に付けた知識を元に与えられた設定に条件を満たす、より実践的な設計をする  自由な発想で2年間の集大成としてふさわしい作品を制作する</p>			
授業終了時の到達目標			
他の授業で身に付けた知識・技術を全て使い2年間の集大成としてふさわしく、他人と自分自身を納得させる作品を制作できるようなる			
実務経験有無		実務経験内容	
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う	
時間外に必要な学修			
<p>実在する空間を数多く見て、使って研究する  様々な情報を集める癖をつける  なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける</p>			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	<p>コンセプトワークについて確認する</p> <p>言葉の連想、グループ討論</p>	
2~36	設計課題①マンションリフォームor平屋住宅	<p>課題の内容をしっかりと理解する</p> <p>10専攻：マンションリフォーム</p> <p>建築専攻：新築戸建住宅</p> <p>コンセプトワーク、プランニング、プレゼンボード制作、模型制作、プレゼンテーションを通して設計の基礎を身に付ける</p>	
37	オリエンテーション	<p>課題の内容をしっかりと理解する</p> <p>※詳細後日発表</p>	
38~89	設計課題②卒業制作	<p>コンセプトワーク、プランニング、プレゼンボード制作、模型制作、プレゼンテーションそれぞれの設計過程において2年間の集大成となる作品を制作する</p>	
教科書・教材		評価基準	評価率
建築・インテリア系雑誌 資料集成		<p>実習・実技評価</p> <p>課題・レポート</p> <p>授業態度</p>	<p>20.0%</p> <p>60.0%</p> <p>20.0%</p>
			その他

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
コーディネート演習	トータルインテリア学科/2年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位(48時間)	選択		三好 里香	
授業の概要				
最新のインテリアの実物に触れ、体験することで、クリエイターに必要な旬な情報とデザインセンスを習得し、同時に実践的な商業施設の店舗内装、コーディネートをプロジェクトチームとして企画デザインし、そのプレゼンテーションスキルを学習する。				
授業終了時の到達目標				
実社会にでて即戦力となる空間デザイン、カラーコーディネートに必要なプレゼンスキルを習得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		住商業空間のインテリアデザイン、コーディネート、ホームステージング、ショーイングディスプレイ等の経験多数あり。		
時間外に必要な学修				
インテリア関係の雑誌をたくさん見る				
回	テーマ	内容		
1~ 2	オリエンテーション	インテリアセラー インテリアコーディネーターの仕事の流儀		
3~ 4	モデルルーム見学	マンションモデルルーム見学 プロのコーディネーターの仕事ぶりを体感する		
5~ 6	インテリアスタイルとコンセプトメイクの定義	クライアント(職種)×ターゲットによるコンセプトスタイルのとらえ方のルールを理解する		
7~ 8	イメージボード&ゾーニングレイアウト制作	各スペースごとのイメージコンセプトを各自が共有できるよう、グループミーティング		
9~ 10	カラースキム(商業施設&ホテル客室)	インテリアエレメント(仕様)のプレゼンシート制作		
11~ 12	家具・照明レイアウトプラン	家具・照明のセレクト&レイアウトプラン		
13~ 14	リアルサンプルイメージボード			
15~ 16	ショールーム見学			
17~ 24	ショップイメージ&プレゼンボード作成(課題)	キッチン、家具、壁紙、カーテン		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		授業態度	30.0%	
		課題・レポート	30.0%	
		実習・実技評価	40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
SP演習	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位 (96時間)	選択		寒川 恵太
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリア・空間デザインのプロセスを理解し、想像性豊かなものづくりに取り組む</li> <li>・具体的な場を想定して、店作り・住宅等のコンセプトワーク、プランニングを行う</li> <li>・スケッチを基本にまとめ上げるー平面プラン・立体パース</li> </ul>			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手描きプレゼンが出来るーパース(着色)</li> <li>・プランニングの進め方が理解できている</li> <li>・独自性のあるコンセプトワークの進め方が理解できている</li> </ul>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	大型商業施設の商環境デザイン、住宅・店舗の設計の経験を活かした教育を行う。		
時間外に必要な学修			
課題提出の締切に間に合うよう、授業中の各々の進捗に合わせて作図等を行う			
回	テーマ	内容	
1~2	デザイン事例紹介	医院/住宅/設計事例スライド(HPより)	
3~8	テーマ1 (物販店舗の設計)	ベーカリー 又は ケーキ	
9~16	テーマ2 (飲食店の設計)	南柏駅とペDESTリアンデッキにて繋がるビルのテナント	
17~22	テーマ3 (住宅の設計)	高松駅近くの繁華街を立地とする住宅	
23~24	テーマ4 (和の手法)	事例紹介 インテリアパース, 着色	
25~30	テーマ5 (店舗設計)	業種の設定・事例参考 平面プラン(3コマ目安)、展開スケッチ、インテリアパース	
31~36	テーマ6 (インテリア産業協会コンペ)	過去受賞作品分析、条件の把握、成果品まとめ、家具照明	
37~44	テーマ6 (インテリア産業協会コンペ)	過去受賞作品分析、条件の把握、成果品まとめ、家具照明	
45~48	テーマ7 (郊外型店舗設計)	敷地利用計画、コンセプト・敷地配置、プランニング、ファサードデザイン、外観パース、内観パース	
教科書・教材		評価基準	評価率
スケッチブック トレーシングペーパー コピック 鉛筆、色鉛筆 PC		授業態度 実習・実技評価	30.0% 70.0%
			その他

作成者: 寒川 恵太

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
コンペ演習	トータルインテリア学科/2年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (30時間)	選択		寒川 恵太	
授業の概要				
様々なコンペに応募することにより、クライアントを設定した制作及び期限をふまえた実践的な制作態度を身につける				
授業終了時の到達目標				
コンセプトワークを自分のものにし、更にプレゼンボードのスキルをあげる 各自1回以上の受賞を目指す 外部に評価をしてもらう事で自信となり就職活動に役立てる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大型商業施設の商環境デザイン、住宅・店舗の設計の経験を活かした教育を行う。		
時間外に必要な学修				
実在する空間を数多く見て、使って研究する なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	様々なコンペにおいての入賞作品をみてみよう		
2~15	コンペ作品制作 適宜コンペ作品制作 ※詳細後日発表	課題説明 コンセプトワーク 必要図面等作成 プレゼンボード制作		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌全般		実習・実技評価 授業態度 課題・レポート	50.0% 10.0% 40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
家具デザイン概論	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (54時間)	選択		安藤 隆史	
授業の概要				
家具の機能・材料・構造・仕上げ等の基礎的知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
家具の種類・特徴を理解した上で、制作計画・図面作成を、実制作に生かせるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		CNCフライス盤やレーザー加工機をはじめとするデジタルファブリケーションを主に木製品などの加工を行う		
時間外に必要な学修				
家庭学習で、家具の各部の名称と人間工学を勉強しておく				
回	テーマ	内容		
1	家具の条件	機能性・耐朽性		
2	家具の条件	安全性・審美性		
3	家具の条件	形態・材質・構造		
4	家具の条件	箱物家具		
5	家具の条件	脚物家具		
6~7	家具の機能と寸法	人間工学と寸法		
8~9	家具の機能と寸法	用途による寸法		
10	家具の機能と寸法	材料による寸法		
11	家具の機能と寸法	場所による寸法		
12	前期末試験			
13~15	前期課題			
16	木材の種類	国産材・輸入材		
17	国産材・輸入材	木材の性質		
18	金具の種類と加工	棚受け金具		
19~20	金具の種類と加工	連結金具		
21	家具の図面	三面図		
22	家具の図面	詳細図		
23	家具の図面	部品図		
24	工具	工具の種類		
25	工具	工具の使用法		
26	工具	工具の安全		
27	後期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート 授業態度 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
家具デザイン演習	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (132時間)	選択		安藤 隆史	
授業の概要				
家具デザイン概論で学んだ事を実制作する				
授業終了時の到達目標				
前期は家具製作の実際が理解出来るようになり 後期はそれをふまえ卒業制作を完成させる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		CNCフライス盤やレーザー加工機をはじめとするデジタルファブリケーションを主に木製品などの加工を行う		
時間外に必要な学修				
制作の時間が不足するので空き時間を利用して制作を自主的に進める				
回	テーマ	内容		
1~2	オリエンテーション	授業計画の告知・工房の使用方法を告知		
3~4	ダンボールスツール1・2	ダンボールスツールプラン・ダンボールスツールの内容と条件を知った上で プランニングを開始する		
5~6	ダンボールスツール3・4	スツールのデザイン決定、図面制作		
7~8	ダンボールスツール5・6	ダンボールスツール展開図・ダンボールスツールのパーツと数量を確認、パソコン上で展開図制作		
9~10	ダンボールスツール7・8	ダンボールスツール材料取り・パソコン上で展開図制作したダンボールスツールのパーツをダンボールに製図		
11~12	ダンボールスツール9・10	ダンボールスツール組立て・ダンボールに材料取りしたものを切断 組み立て		
13~16	子供椅子1・2	子供椅子のプランを立てる		
17~20	子供椅子3・4	子供椅子の図面を書く		
21~30	子供椅子5・6	子供椅子の制作をする		
31~36	卒業制作	卒業制作のプランを立てる		
37~45	卒業制作	卒業制作の図面を書く		
46~66	卒業制作	制作		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	20.0%	
		授業態度	20.0%	
		期末試験	60.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
創造制作演習	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (136時間)	選択		鈴木 鞆	
授業の概要				
1年次に学習したMacの知識を活かし、さらに撮影や装飾方法について学び、アウトプットする。コンセプト設定を行い、制作物や販売計画などを立案し、店舗計画の基本を習得。企画から学生が行い、F6のディスプレイを制作する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真撮影をノウハウを習得する。</li> <li>・自分たちで店舗のコンセプトを考え、企画・制作・販売まで行う。</li> <li>・ディスプレイ企画・制作を行う。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ウェディング専門の写真館に3年勤務（人物撮影が主）。デザイン会社でグラフィックディレクター・フォトグラファーとして7年勤務。合同会社higotoを立ち上げ、代表社員・アートディレクター・フォトグラファーとして実務経験あり。		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う</li> <li>・ジャンル問わずさまざまなデザインに触れ、表現方法や意図について興味を持ったり、考察する。</li> </ul>				
回	テーマ	内容		
1	カメラワーク①撮影	基本的なカメラの使い方、作品に合わせた撮影方法について		
2	カメラワーク②現像	撮影した写真の取り込み方や現像方法について		
3	カード制作	撮影した写真を用い、文字や装飾を行い、カード制作をする		
4~6	課題制作①	課題に対し、どんな写真が合うか考え、それに合う撮影を行い、文字や装飾を行い課題制作をする		
7~8	課題制作②	課題に対し、どんな写真が合うか考え、それに合う撮影を行い、文字や装飾を行い課題制作をする		
9~12	店舗企画	コンセプトを考え、販売物やPOPをはじめとした店舗企画を行う		
13~20	制作	店舗企画に沿って、制作する		
21~28	6Fオープンスペースディスプレイ案① 模型試作	テーマ・素材・配色・構成の仕方について学ぶ		
29~39	6Fオープンスペースディスプレイ作成	ディスプレイを作成		
40~44	雑貨製作			
45~49	6Fオープンスペースディスプレイ案② 模型試作 テーマ・素材・配色・構成の仕方について学ぶ			
50~61	6Fオープンスペースディスプレイ作成	ディスプレイを作成		
62~68	外部マルシェ出店計画			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート 授業態度 実習・実技評価	70.0% 20.0% 10.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
コンペ演習	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位(48時間)	選択		寒川 鶴籠	
授業の概要				
様々なコンペに応募することにより、クライアントを設定した制作及び期限をふまえた実践的な制作態度を身につける				
授業終了時の到達目標				
コンセプトワークを自分のものにし、更にプレゼンボードのスキルをあげる 各自1回以上の受賞を目指す 外部に評価をしてもらう事で自信となり就職活動に役立てる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	大型商業施設の商環境デザイン、住宅・店舗の設計の経験を活かした教育を行う。			
時間外に必要な学修				
実在する空間を数多く見て、使って研究する なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	様々なコンペにおいての入賞作品をみてみよう		
2~15	コンペ作品制作 適宜コンペ作品制作 ※詳細後日発表	課題説明 コンセプトワーク 必要図面等作成 プレゼンボード制作		
16	オリエンテーション	様々なコンペにおいての入賞作品をみてみよう		
17~24	コンペ作品制作 適宜コンペ作品制作 ※詳細後日発表	課題説明 コンセプトワーク 必要図面等作成 プレゼンボード制作		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌全般		実習・実技評価 授業態度 課題・レポート	50.0% 10.0% 40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
LS概論	トータルインテリア学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位 (48時間)	選択		中田 忠志
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来、どのような職業に就くにしても必要になってくる、接客販売技術の習得を目指す。</li> <li>・住生活商品の知識と合わせて、販売時に必要な基本的な実務能力を身に付ける。</li> </ul>			
授業終了時の到達目標			
リビングスタイリスト資格試験2級に合格する			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
授業内容の確認・復習			
回	テーマ	内容	
1	リビングスタイリストの仕事	試験内容の確認 リビングスタイリストとは	
2	リビングスタイリストの仕事	リビングスタイリストの仕事 リビングスタイリストに必要な知識	
3	流通	流通のしくみ、小売業の役割、小売業の分類	
4	流通	小売業の分類	
5	流通	チェーン組織	
6	流通	データに見る小売業	
7	流通	情報の種類	
8	流通	情報の収集、情報の活用	
9	マーケティング	マーケティングの基礎知識、市場調査	
10	店舗演出 接客販売	店舗演出の基本 接客販売の仕事とは	
11	接客販売	リビングスタイリストの基本業務	
12	接客販売	接客販売に関する事務 購買心理とは	
13	接客販売	接客販売の流れ	
14	接客販売	話し方、立ち居振る舞い、身だしなみ	
15	接客販売	お客様のタイプ別対応方法	
16	接客販売	クレーム対応	
17	ビジネスマナー	社会人の基本、職場の人間関係、報告・連絡・相談	
18	ビジネスマナー	ビジネス用語、自己管理	
19	法規	住生活産業に関わる法規	
20	家具	家具の分類、いす、テーブル・机、収納家具、ベッド	
21	窓装飾	カーテン、シェード、スクリーン、ブラインド	
22	照明、設備	照明の基礎、光源、照明器具 キッチン、バス、トイレ、その他設備、リフォーム	
23	まとめ		
24	前期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率
1級・2級リビングスタイリスト資格試験 【公式テキスト】		授業態度 課題・レポート 期末試験	30.0% 10.0% 60.0%
			その他

作成者: 生島 直樹

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
家具技能演習	トータルインテリア学科/2年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (96時間)	選択		生島 直樹	
授 業 の 概 要				
年間を通して家具手加工実技製作を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
家具手加工技能検定3級の合格を目指す				
実務経験有無		実務経験内容		
有		木工所経営者 技能検定建具手加工1級, 家具手加工1級取得		
時間外に必要な学修				
繰り返し練習をする				
回	テ ー マ	内 容		
1~ 4	技能検定について	製作課題の説明、原寸図面の作成		
5~ 10	手道具について 取り扱いの説明	手道具の説明、加工方法の説明、実技見本 各自加工にとりかかる		
11~ 20	各カ所の加工説明 道具の使い方説明	4カ所の加工の手順説明、それぞれの加工を進めていく 道具の調整、刃物砥ぎ方指導		
21~ 48	実技指導	4カ所の加工の手順説明、それぞれの加工を進めていく		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教材 (木材) は必要に応じて購入とする		授業態度 実習・実技評価	40.0% 60.0%	

作成者: 鵜籠 麻美

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
作品展示計画Ⅱ	トータルインテリア学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位(24時間)	必須		鵜籠 麻美

## 授業の概要

言葉のプレゼンテーション及び視覚的な表現としてのプレゼンテーション、オリジナリティがあり、より効果のあるプレゼンテーションを実施する

## 授業終了時の到達目標

限られた時間で伝えるプレゼンテーションテクニックを見つける  
さまざまなアイデアを形で表現する表現力を身につける

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有

建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

## 時間外に必要な学修

物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける  
実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テーマ	内容
1~4	プレゼンテーション練習	
5~8	プレゼンテーション	
9~12	デザイン展会場制作・設営	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	授業態度 実習・実技評価	50.0% 50.0%	